

研究開発用台車ロボット及びコミュニケーションロボット

概要

ヴイストーン株式会社では、研究開発向けに様々な台車ロボットやコミュニケーションロボットを開発・製作しています。台車ロボットはROS 2に対応しており、様々なカスタマイズが可能です。Raspberry Piを搭載することで複雑な処理、コミュニケーションに対応したコミュニケーションロボットの研究開発モデルも開発・製作しています。

特徴

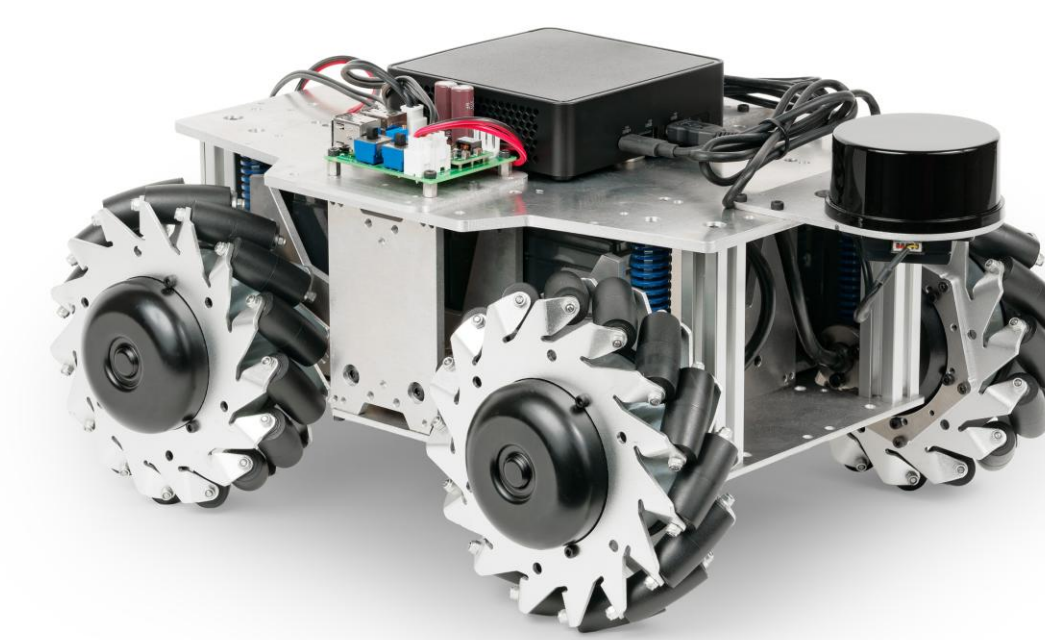
- ROS 2対応台車はmicro-ROSを採用しており、ユーザーにてファームウェアを改造することで機能を追加することができる、高い拡張性を備えています。複数種の車輪機構をラインナップしており、様々な用途に適合します。
- ぬいぐるみ素材のコミュニケーションロボットに、Raspberry Pi 4Bやセンサー類、カメラを搭載したのが「ひろちゃん-R」です。ロボット単体で高度な処理やデータ収集が行えるため、これまで以上に多彩な場面で活用することができます。
- 台車ロボット、ひろちゃん-Rともに、ATRが開発したCA(サイバネティック・アバター)基盤への対応が進められています。CA基盤を活用した研究開発をスムーズに開始することが可能です。

今後の展開

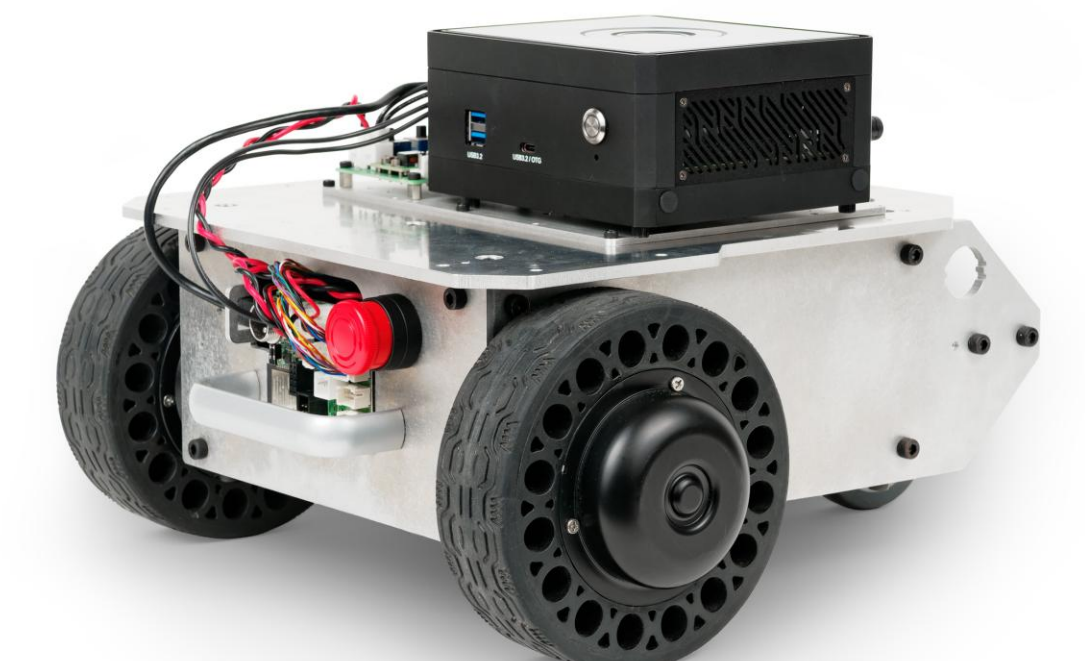
- 様々な実証実験、研究への貢献を通じて、人と社会に求められるロボットの開発を進めると共に、ロボットが活躍できる場をいっそう拡大させることを目指します。

テーマ「社会課題と向き合う科学技術の最前線」との関連

- 様々な研究開発プロジェクトで、ヴイストンのロボットが活躍しています。既存の機能・性能に囚われない製品開発を続けることで、社会課題の解決に貢献してまいります。



メカナムローバーVer.3.0
+NUC14+LiDAR



メガローバーVer.3.0
+Jetson Orin NX(試作)



ひろちゃん-R



VS-KRM01

